

支部事業報告書（支部長・部会長会議用）

支部名： 関東支部

支部長名： 本間 真人

1 支部活動の概要報告

（特記事項含む）

2月17日に支部総会・幹事会を開催し、2020年度事業報告・収支報告を行うとともに2021年度事業計画書・収支予算を了承。

新型コロナの影響を考慮し、各事業を状況を見ながら対面またはオンラインにて開催。

- ・6月5日に「くずりと健康2021春季講演会」をオンラインにて開催。
- ・7月8日に奨励賞選考委員会を開催。5名の受賞者を選考した。
- ・7月30日に武田薬品工業(株)協力のもと、小学5～6年生を対象とした子ども実験企画をオンラインにて開催。
- ・9月11日に千葉大学亥鼻キャンパスにて「関東支部大会」「若手シンポジウム」をオンライン開催。
同日、幹事会も支部大会内にてオンライン開催した。
- ・10月2日に「くずりと健康2021秋季講演会」をオンラインにて開催。
- ・11月27日に学術講演会をオンラインにて開催。
- ・1月9日に薬剤師向け研修講演会をオンラインにて開催。

2 支部活動の実施報告

1 支部総会等の開催				
名称	日時	場所	参加者数	特記事項
第65回 支部総会	2021/2/17	オンライン開催	95名	理事会報告、支部長・部会長会議報告、執行部会報告、2020年度事業報告・収支計算書について、2021年度事業計画・収支予算について
第65回 支部大会	2021/9/11	オンライン開催 千葉大学 亥鼻キャンパス	644名	「創薬科学・臨床薬学のニューノーマル（新常態）」 一般演題発表 352件 (口頭：179演題、ポスター：173演題) 【シンポジウム】 ・薬学研究を支える最先端有機合成化学 ・次世代創薬を支える基礎生命科学 ・最先端技術で切り拓くこれからの創薬と医療 ・ファイトケミカルの分子作用機序を探る ・ポストコロナ時代における薬剤師業務と薬剤師教育 ・計算機科学が拓く薬学の未来
2 会議等の開催				
名称	日時	場所	特記事項	
第1回 幹事会	2021/2/17	オンライン開催	2021年度事業計画、支部大会開催学校、支部奨励賞応募依頼について	
新旧 執行部会	2021/2/17	オンライン開催	新旧執行部引継、委員紹介、執行部、支部事業について	
奨励賞 選考委員会	2021/7/8	オンライン開催	応募総数14件より5名の受賞者を選考 今後の募集・選考方法について協議	
第1・2回 執行部会	2021/8/27	オンライン開催	第1・2回の執行部会内容を日程が厳しかったため同日に行った。 理事会・支部長/部会長会議・事業についての報告、次年度支部実施体制・2022年度事業計画/予算書・次期役員候補者/選考委員の推薦、次年度副支部長選出について協議	
第2回 幹事会	2021/9/11	オンライン開催	理事会・支部長会議・執行部会・事業について報告、選挙について、2022年度事業計画・予算書について	

第3回 執行部会	2022/1/28	オンライン開催	理事会・支部長会議・執行部会・事業について報告、2022年度事業計画・予算書、2021年度決算書等について
第3回 幹事会（総会）	2022/2/17予定	オンライン開催	理事会・支部長会議・執行部会・事業について報告、2022年度事業計画・予算書、2021年度決算書等について

3 事業

名称	日時	場所	参加者数	特記事項
市民講座（春季）	2021/6/5	オンライン開催	69名	<p>【くすりと健康2021春季講演会】</p> <p>1「夢のエイズ薬最前線」 （東北大学/横浜薬科大学 名誉教授） 大類 洋 先生</p> <p>2「健康の正体」 （順天堂大学医学部病院管理学研究室） 小林 弘幸 先生</p>
市民講座（秋季）	2021/10/2	オンライン開催	48名	<p>【くすりと健康2021秋季講演会】</p> <p>1「くすりの善と悪」 （東京大学大学院薬学系研究科 教授） 澤田 康文 先生</p> <p>2「住みなれた街でいつまでも ～在宅療養とくすりのこと～」 （医療法人社団至高会たかせクリニック） 高瀬 義昌 先生</p>
子ども実験企画	2021/7/30	オンライン開催 （武田薬品工業(株) 湘南アイパーク）	19組 （親子）	<p>初めてオンラインにて研究所見学・実験を行った。全国から参加者が集まり好評であった。</p> <p>【夏休み子供実験教室】 『誕生！くすり研究者 ～夏休みの宿題、苦手だったわたしが得意になる瞬間～』</p>
若手シンポジウム	2021/9/11	オンライン開催 千葉大学 亥鼻キャンパス （支部大会併催）	約30名	<p>「若手が挑む、薬学生体防御研究の最前線」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ムチン糖鎖硫酸化による生体防御 ・新しい単球サブセットによるがん転移の促進とその機構 ・ワクシニアウイルスを母体とした、高病原性鳥インフルエンザH5N1ウイルスに対する組換えワクチンの作用機序解析 ・尿酸輸送体による尿酸動態制御と生体防御 ・メタボローム解析を用いた薬剤性間質性肺炎のバイオマーカー探索
学術講演会	2021/11/27	オンライン開催	93名	<p>【医療を支える生命科学の最前線】</p> <p>1「薬局および在宅での微量血液によるdried blood spot (DBS) 法を用いたTDMおよび遺伝子多型解析の実施に向けた基礎的検討」 （慶應義塾大学薬学部） 横山 雄太 先生</p> <p>2「内在性バイオマーカーを活用した病態時の薬物動態の評価」 （明治薬科大学大学院薬学研究科） 鈴木 陽介 先生</p> <p>3「尿酸トランスポーターと高尿酸血症・痛風の薬物治療」 （東京大学医学部附属病院 薬剤部） 高田 龍平 先生</p> <p>4「脳由来神経栄養因子（BDNF）にフォーカスした抗認知症戦略の構築を目指して」 （高崎健康福祉大学 薬学部薬学科） 福地 守 先生</p> <p>5「温熱耐性がん細胞の発見と新たながん温熱治療の開発へ」 （千葉大学大学院薬学研究院） 島山 浩人 先生</p>

薬剤師向け研修講演会	2022/1/9	オンライン開催	84名	<p>【がん治療における薬剤師の役割 ー基礎から地域医療連携までー】</p> <p>1「抗がん剤の副作用対策における基礎研究：末梢神経障害および口内炎の予防/治療法開発に向けて」 (京都大学医学部附属病院副薬剤部) 中川 貴之 先生</p> <p>2「がん患者への薬学的介入の実践ーエビデンスをもとにプロフェッショナルとしての介入を！ー」 (群馬県立がんセンター薬剤部) 藤田 行代志 先生</p> <p>3「地域につながるがん薬物療法と薬剤業務のデジタルトランスフォーメーション」 (神戸市立医療センター中央市民病院) 室井 延之 先生</p>
------------	----------	---------	-----	---

4 若手のための取組

・奨励賞の応募は昨年度より1件減少し、今年度は物理系の応募がないなど、募集分野による応募数の偏りもあった。引き続き、支部会員からの応募推薦について、幹事会ならびに執行部会等でも協力要請を行っていききたい。

・支部大会では例年優秀賞を口頭・ポスター発表とも選考しており、若手の研究意欲を高める取り組みであると、学生をはじめ参加者の評価も高い。薬学会の入会促進や基礎薬学分野への啓蒙として今後も継続して取り組んでいきたい。

5 奨励表彰(名称)	受賞者名	演題・対象研究・副賞
支部奨励賞 (5名)	三澤 隆史 (国立医薬品食品衛生研究所)□	「次世代中分子ペプチド医薬品創出に向けた基盤技術の開発」
	大多和 正樹 (北里大学薬学部)	「特徴的な生物活性を有する天然有機化合物を基盤とした創薬研究、全合成および反応開発研究」
	廣田 佳久 (芝浦工業大学システム理工学部)	「脳内ビタミンKの生理機能の解明および脳神経再生を志向した新規誘導体の創製」
	水野 忠快 (東京大学大学院薬学系研究科)	「薬物の包括的な作用理解を実現する作用分離解析の開発」
	吉門 崇 (横浜薬科大学薬学部)	「肝OATP基質薬および内在性基質の生理学的速度論モデル構築に基づいた薬物相互作用予測法の開発」
第65回支部大会 優秀口頭発表賞 (21名)	矢澤智弘(千葉大院・薬)	「新規蛍光分子Bis-pseudoindoxyl類縁体のデザインと合成」
	高岡恭兵(東大院・薬)	「タキソールCD環部の合成研究」
	狩野朱音(東京薬大・薬)	「Apetalinone Cの合成研究」
	安高理裕(千葉大院・薬)	「(+)-20-エピ-シリシンの不斉全合成」
	岡崎伸之輔(東京薬大・薬)	「海産ポリケチド Plakdiepoxide および Plakortone Q の合成研究」
	坂本奈津美(筑波大院・数理工学)	「17-N-フルオロアルキルナラフラフィン誘導体の合成と薬理評価」
	萩原伸哉(千葉大院・薬)	「一工程でmRNAを内封できるReady-to-Use型脂質ナノ粒子製剤の創生」
	渡邊一樹(千葉大院・薬/阪大院・薬)	「FMO計算によるSARS-CoV-2変異株RBD-中和抗体間の相互作用解析」
	保谷藍(東京理大・薬)	「ヒト乳がん細胞に対する細胞外ヌクレオシド・ヌクレオチドによる細胞死誘導とそのメカニズムの解明」
	寺田菜摘(千葉大院・薬)	「NF-κB経路活性化によるオートファジー制御機構の解析」
	竹中洋平(東京理大院・薬)	「選択的セロトニン再取り込み阻害薬SSRIの抗炎症効果の解明」
	木村涼那(千葉大・薬)	「神経ペプチドFMRFaは記憶を正に制御する」
	江嶋俊哉(東京工科大院・バイオニクス専攻)	「脊髄損傷時の神経再生阻害因子(CS-E)に対するヒト血清アルブミン融合ヒトラクトフェリンの増強した神経保護」
	丸山友輔(東京理大院・薬/国立精神・神経医療研究センター神経研究所)	「プロスタグランジンE2受容体EP2は骨格筋幹細胞の維持に重要である」
	山中夏樹(千葉大院・薬)	「DHA-1 β-ラクタマーゼ発現Klebsiella 属細菌のカルバペネム抵抗性」
	高崎凌(東京理大・薬)	「高精度な抗がん剤スクリーニングを目的とした間質構造を有する膀胱癌細胞スフェロイドの開発」
	岡本諒(東京理大・薬)	「ヒト神経膠芽腫細胞のアセンロミド耐性機構の解明」
	神亮太(千葉大院・薬)	「患者個別データを用いたパーキンソン病の長期病態進行モデルの構築」
	細木悠真(東京理大院・薬)	「経鼻投与されたGLP-2誘導体は神経細胞を乗り継いで作用を発現する」
	茂木雛子(千葉大・薬)	「新規蛍光標識コレステロールR-Cholの有用性の検討」
	大山遼太郎(千葉大院・薬)	「ビタミンE足場型材料が誘導する免疫活性化メカニズムの解明」

<p>優秀ポスター発表賞（22名）</p>	<p>小山田有沙(東京理大・薬) 大林ひかり(千葉大院・薬) 高橋那央也(北里大・薬) 篠田開人(北里大・薬) 今廣太郎(星薬大・薬) 前嶋乃理絵(千葉大・薬) 大山純子(慶應大・薬) 角田千祐(東京理大・薬) 佐藤風花(慶應大・薬) 岡田明莉(慶應大・薬) 村江真奈(東京理大院・薬/国立感染症・細胞化学) 石倉晨規(千葉大院・薬) 大島太一(千葉大院・薬) 池山佑豪(千葉大院・薬) 島田一秀(千葉大院・薬) 小達萌未(明治薬大) 石津拓(東京理大・薬) 風間皓大(千葉大院・薬) 藤田京子(星薬大) 春田憲慎(東京薬大・薬) 山口泰暉(東京薬大・薬) 垣内彩実(帝京大・薬)</p>	<p>「カチオン性環状ペプチドを導入したイリジウム(III)錯体-ペプチドハイブリッドの設計・合成と生物活性評価」 「インフルエンザRNAポリメラーゼを阻害する新規化合物の探索」 「ボロン酸触媒を用いた糖質の位置選択的Koenigs-Knorr型グリコシル化反応の開発」 「ジボロン酸無水物触媒を用いたジケトピペラジンの簡便合成法の開発」 「フラグメント分子軌道法によるGPCRと脂質二重膜の相互作用解析」 「創薬スクリーニングの標的となる Ras変異体の探索」 「化粧品への応用を目的としたリポソーム製剤の開発と機能性評価」 「ファモチジン存在下におけるジクロフェナクの溶解性に対するシクロデキストリン複合体形成の影響」 「Sodium zirconium cyclosilicate hydrateによるCs-137除去効果の検討」 「ラベルフリー細胞分離を実現する温度応答性細胞分離カラムの開発」 「新型コロナウイルス侵入阻害剤の簡便なスクリーニング系構築」 「制御性T細胞の炎症巣浸潤におけるシアリルルイスX糖鎖の寄与検討」 「非小細胞肺癌細胞における分子標的薬に対する薬剤寛容機構の検討」 「薬物性肝障害での骨髄由来細胞におけるミトコンドリア透過性遷移の関与」 「画像と機械学習を用いたタンパク質の結合予測」 「シームレスカプセルを用いた小児用製剤の苦味マスキング」 「骨肉腫患者を対象としたメトトレキサート大量療法における肝機能障害発現因子の検討」 「セラミドキナーゼによる記憶形成制御機構の解明」 「カルベジロール・エナラプリルマレイン酸塩からなる新規分子複合体形成の基礎的検討」 「がん治療に向けた抗体医薬品搭載ナノバブルの機能性評価」 「pDNA搭載多糖類コーティングナノバブル開発に向けた基礎的検討」 「脳への薬物送達に向けた集束超音波照射条件の検討」</p>
-----------------------	---	---

6 会員数増強のための取組

・奨励賞に薬剤師等の研究を褒賞する「臨床薬学」を別枠として設けたが、これは薬剤師の薬学会からの退会を抑制し、会員数の確保を図る活動の一環である。応募数が少ないため、応募要件などの検討も必要かもしれない。継続して情報を浸透させ、応募の推奨活動を行っていききたい。

・薬科系大学の若手の教官で未会員者に対して、幹事会・執行部会で課題提起し、入会の奨励を行っていききたい。

・薬剤師や子供を含む一般市民を対象とした研修・啓蒙活動を継続し、幅広く薬学会の活動を理解してもらうことにより、薬剤師会員の確保ならびに将来的な会員増強を図りたい。

7 その他の事業

* 当該支部の該当項目に限りご記入ください。